

# 介護の職場だから、まず自分が明るく

当施設にオープンと同時に移って1年、介護職員としての経験は9年になりました。

介護福祉士はご利用者の生活に密着した仕事です。入浴、食事、トイレの補助はもちろん、衛生管理、歩行補助、在宅では家事援助など。決して簡単な仕事ではありません。

なかでも排泄を自身で行えるようにすることは、在宅復帰のキーとなります。入所されたときに、排泄の自立はかなり難しいと思われた方でも、リハビリスタッフなどと共同で根気よくケアしたことで、なんとかズボンのあげおろしができ、立位での排泄が可能になったことがあります。

こうしたことで、ご利用者から、「ありがとう」「助かります」などの言葉をかけてもらえたときや、満面の笑みを見せてもらえたときには、「介護の仕



とちぎの郷（栃木県）

介護福祉士 **まつ おさとみ**  
松尾聡美

事をしていて本当によかった」と心から感じ、自分の励みとなります。

介護の職場では、まず、自分が明るく楽しくすごさなければ長く勤めることは難しいです。スタッフの明るい振る舞いがあればこそ、みんなに笑顔が広がり、その笑顔にまた自分も励まされるのだと思います。

当施設では季節に合わせて、春にはお茶会、夏には七夕や花火大会、秋には運動会、冬にはクリスマスコンサート等を行い、からだで季節を感じてもら

えるようにしています。お誕生会では大きな模型のケーキを用意し、みんなで楽しくお祝いします。

行事に取り組むときには、全職員とコミュニケーションをもち、連帯感が一気に強まります。そこから生まれた絆をもっと強め、元気の輪がますます広がるよう努めていきたいと思っています。

